



「木の葉ブログ」2016年度人気(閲覧)ランキング第1位

対象者：幹部クラス(部下を叱る際に愛情を持って接しているか?)
コミュニケーション研修やコーチング研修で活用 (2013年7月24日投稿)

和田アキ子さんが語る「怒る」と「叱る」の違い 「日本人の忘れもの」④

彼女は17歳で大阪から上京し歌手としてデビュー。ヒット曲にも恵まれ、ドラマの仕事もいただくようになって、にわかにな忙しかった頃のお話です。和田さんは当時、横浜にあったホリプロの堀威夫前社長のお宅に居候していましたが、お仕事の関係から、よく新宿で飲み明かして、スタジオ入りしていました。

ちょっとした仮眠のつもりが、爆睡し、ドラマのリハーサルに大遅刻！

テレビ局で顔を洗って歯を磨いて、仕事に入るような生活をしていたあるとき、いつものように朝まで飲んで、ちょっと仮眠を、と思ったところが連日の疲れからすっかり寝入ってしまい、午前9時からドラマのリハーサルが始まるのに、起きたのが何と午後1時！あわてて現場に行くとある人から怒鳴られました。

「あんた、ドラマを何だと思ってるの！遅刻するなんて、何事ですか」

「歌が売れてるからって、なんだっていうのよ！ドラマはね、みんなで作るのよ。誰か一人でも欠けたら、みんなに迷惑がかかるの。それを平気で遅刻するなんて、何事ですか」。こう言って叱ってくれたのは、女優の故・山岡久乃さん(和田さんは親しみを込めて「山岡のおっかあ」と呼んでいたそうです)でした。

叱責を受けた彼女は、そのあまりの迫力に、思わず泣いてしまいました。すると次には「泣いている場合じゃないでしょ。目が赤くなったら、撮影できないでしょ」と叱られました。そして撮影が終わると、今度は「明日は朝6時にいらっしやい」と。正直、「このババア、なに言うんだよ」なんて内心思ったそうです。

新宿で夜明かしし、朝6時にしぶしぶ行ってみると、サプライズが・・・

怖い山岡さんの言いつけですから、無視するわけにもいかず、彼女はその日もまた新宿で飲んで時間をつぶし、朝6時に行きました。すると、どうでしょう。テーブルの上にはご飯にみそ汁、肉じゃがと、彼女の好きな食べ物が並んでいました。山岡さんは「あんたは愛情が足りないの。これから毎朝ここで食べなさい」。

「おっかあは本当に毎朝、朝ご飯を作ってくれたんです。それからです、私が心を入れ替えて仕事に取り組むようになったのは、もちろん遅刻はそれ以来一度もしていません」と和田さん。以来彼女はスタジオ入りが早く、遅れて恐縮する後輩には「化粧に時間がかかるので気にしないで」と優しい言葉をかけるそうです。

山岡のおっかあは怒ったんじゃないんです。私を叱ってくれたんです。「怒る」と「叱る」の違いは何かといったら、「愛情のあるなし」じゃないでしょうか。

このお話は、43人の著名人の言葉を集めた『言葉の力』(PHP研究所編)の、和田アキ子さん「女前(おんなまえ)」からピックアップさせていただきました。



「木の葉ブログ」2016年度人気(閲覧)ランキング第2位

対象者: 全員(仕事道具の扱い方の事例)

新入社員研修やビジネスマナー研修で活用 (2013年7月24日投稿)

イチロー選手の心構え①「道具を大切にする」

電話対応研修の際、冒頭に「電話機の扱いを丁寧にしましょう」と語りかけるようにしています。社会人として当たり前のことですので、みなさん納得顔で聞いてくださいますが、どちらかというところ「そんなこと、今さら言われなくても、わかっています！」の印象が大半でした。ところが、先月の研修でイチロー選手の道具の取り扱い方を例にとり解説したところ、これまでとは明らかに違う肯定的な反応が見られました。テーマに合致した「エピソード」が、いかに聴く側の“共感”を呼ぶかを体験しましたので、今回は、そのお話を紹介いたします。

見習いたいイチロー選手の道具に対する思い

「道具を大事にする気持は野球がうまくなりたいたい気持ちに通じる」とイチローは言った。丹念にグラブを磨くことで、一つひとつの自分のプレーにかける思いは強まり、道具作りにかかわった人たちへ感謝の念が湧いた。『イチローの流儀』より。

続いては、『夢をつかむイチロー262のメッセージ』より

「手入れしたグラブで練習したことは、体に、かならず残ります。記憶が体に残ってゆきま

バットメーカー製造担当者にイチローから謝罪メッセージ

「あれだけのバットを作ってもらって打てなかったら自分の責任ですよ」とイチローは語る。実は1996年7月6日、近鉄戦で左腕小池秀郎に三振を喫して思わずバットを叩きつけたことが一度ある。その後、我に返って久保田(後出)宛に謝罪のメッセージを送っていた。

『何人かの選手から、自分の手掛けたバットについてお礼を言われたことは過去にもありました。でも、バットへの行為そのものを謝罪されたのはあの一度だけですね』と伝説的なバット職人は語った。道具に対する意識の高さはイチロー流準備の特徴だった。

名工を感激させたイチロー流のバット取扱い

「そんなプレミアムバットを1995年頃から特性のジュラルミンケースに入れて持ち歩いている。ケース内には乾燥剤を入れるポケットがあり、湿気による重量増を防いでいる。この特殊ケースを使い始めるまでは、晴れた日にバックネットで天日干ししていた。2004年、マリナーズのアリゾナキャンプを訪れた久保田五十一(いそかず、ミズノテックス所属で、イチローのバットの製作者。2003年11月、厚生労働省認定の現代の名工100人に選出。2005年黄綬褒章受章)には印象的なシーンがある。フリー打撃を終えた選手たちがそれぞれのバットを芝生の上に平気で放り投げる中、イチローだけがバットをグラブでそっと包み、まるで眠った赤ん坊をベットの横たえるように置いていた。」本文および本文上段ともに『イチローの流儀』より。

イチロー選手は、試合後ロッカーに向かって座り、アンダーシャツのまま、「一日の反省はグラブを磨きながら、昨日試合後に何を食べたか、よく眠れたのか、というところから、実際にゲームが終わるまでに起こったすべてのことをよく振り返って考えてみる」のだそうです。そして、黙考が終わるとグラブを丹念に磨き直し、小さな棒器具を使って足裏をマッサージした後にはシャワーに向かうとのこと。

反省しながらクラブを手入れし(実は、試合前にも入念に磨くそうです)、明日以降の準備に取り掛かる。常に準備万全といわれるイチロー選手の一面が垣間見られるシーンですね。そのシーンの中に食事の話がありましたので、今回は、そんなお話をまじえながら、ナイスプレーの原動力といわれる「準備についての心構え」に迫ります。



「木の葉ブログ」2016年度人気(閲覧)ランキング第3位

対象者: 全階層(社内での会議や勉強会の際に活用出来るものとしてご参考まで)
コーチング研修やチームビルディング研修で活用 (2014年5月29日投稿)

ブレインストーミング(ブレスト)の「4原則」 相乗(シナジー)効果を考える (8)

オズボーンが考案したブレストにはあらゆる発想法のエッセンスが凝縮されており、今やアイデアを出すこと自体をブレストと呼ぶ人もいるくらいです。ところがあまりに有名になりすぎて、これが1つの手法だということを知らない人もいます。あれこれ手を加えた自分流や自社流をブレストと勘違いしている人もいますので、まずは、オリジナルのやり方を見てみましょう。

ブレインストーミングとは、読んで字のごとく、脳に嵐を起こして目覚ましいアイデアを雨嵐のように生み出す手法です。そのためのメカニズムが、「4原則」に凝縮されています。

【批判厳禁】 日本ではこう訳されることが多いですが、意図するところは「判断を延期する」です。ブレストの中で最も重要なルールとされています。こういうと、「批判されるとモチベーションが下がるから」と思う方がいるかもしれませんが、間違いではありませんが、もともとの意味は、批判がアイデアの広がりや妨げるからです。(以下に悪い質問例とよい質問例を併記)

- × なるほど。でも、そのアイデアには実現性はあるのでしょうかね？
- なるほど、△△△ですね！ 他にはどうですか？

【自由奔放】 これも正しくは「突飛なアイデアを奨励する」ということです。突拍子もないアイデアや奇抜なアイデアの大半は、最終的に使われず捨てられることとなります。しかしながら、それがあからこそ、我々が囚われている枠組みを打ち破り、新しい視点でテーマを見直すことができます。突飛なアイデアをつぶしたり飲みこんだりしてしまうと、ありきたりの常識的なアイデアしか出なくなってくるのです。

- × え、マジ？ それはちょっとなあ…。真剣に考えてくださいよ。
- お見事！ それもOK。 えらい、よくそこまで言った！

【質より量】 良いアイデアを出すことを考えるのではなく、たくさんアイデアを出すことを目指しましょう。「アイデアを出せば出すほど、解決策へのいちばんいい手掛かりを考え出せる可能性が多くなる」からです。

- × それは○○と同じですね。もっとよいアイデアはありませんか？
- あと10個出してみましょう。似ていてもいいですから出してください。

【便乗歓迎】 このルールは、「付け足し歓迎」や「結合改善」(結合と改善を求める)と表現されることもあります。便乗とは、既に出たアイデアを足がかりにして別のアイデアを考えることです。「参加者は自分のアイデアを出すばかりではなく、他人のアイデアをもっとよいものに変えるにはどうしたらよいか。また、2、3のアイデアをさらに別のアイデアに変えるにはどうしたらよいか」を考えるのです。

- × まったく新しい視点で何かありませんか？
- 今の案に付け足すことは？ これを少しひねってみませんか？

参考資料:『アイデア・イノベーション』(堀公俊&加藤彰著/日本経済新聞出版社)

